

当社の新たな国際事業展開について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小高英紀）は伊藤忠商事株式会社と共同で、東南アジアのブルネイ政府が公募していた天然ガスからのダウンストリーム計画に対しメタノールプロジェクトとして応募しておりましたが、このたび、最終交渉相手に選ばれました。今後当該プロジェクトの決定に向けての詳細な交渉段階に入ります。

現時点での計画の概要は次の通りです。

- | | |
|------------|---|
| 1. 事業地 | ブルネイ国 スンガイ・リアング工業地区
(Sungai Liang industrial area) |
| 2. 生産能力 | 日産 2,500 トン（年産 850,000 トン） |
| 3. 採用技術 | 三菱（MGC/MHI）メタノールプロセス
※ 三菱ガス化学(株)と三菱重工業(株)が共同保有するプロセス技術 |
| 4. 建設期間 | 基礎エンジニアリングの開始から 28 ヶ月 |
| 5. 建設完了時期 | 2007 年 第 3 四半期 |
| 6. 事業形態 | ブルネイ側と日本側による合弁会社。（出資比率は未定） |
| 7. 日本側出資者 | 三菱ガス化学(株)グループ、伊藤忠商事(株) |
| 8. 総投資金額 | 3 億ドル（USD）未満 |
| 9. 資金調達方法 | プロジェクトファイナンスによる調達 |
| 10. 事業期間 | 20 年間 |
| 11. 最終決定時期 | 2005 年 4 月 1 日の見込み |

交渉はブルネイ経済開発委員会（BEDB：Brunei Economic Development Board）との間で行われており、この最終交渉で合意が得られれば最終決定（Final Investment Decision）となります。

また、当社は中国の重慶におきましても重慶化医控股(集団)公司との合弁によって年産 85 万トンのメタノールプラントを建設するプロジェクトを検討して参りましたが、8 月 16 日に国家発展改革委員会より当該プロジェクトに関する詳細事業化調査を行う正式許可（項目建議書の正式許可）が得られております。今後、事業化に向け詳細な調査・検討を行ってまいります。（現時点での計画は、総投資額 2 億ドル(USD)、出資比率 当社を含む日本側 51%：重慶側 49%、建設完了の目処は 2008 年。）

当社といたしましては相互に実りのあるプロジェクトの実現に向け最大限の努力を行ない、メタノール事業の国際展開を推進していく所存です。

以上

本件に関する問合せ先

三菱ガス化学株式会社

広報 IR 部 佐藤 Tel.03-3283-5041

有機化成品事業部 塚田 Tel.03-3283-4746